

授業科目 「教育実践研究Ⅱ」  
 担当教官 平松 義樹  
 科目区分 教育実践研究  
 受講生 15名

## 1 授業の目的と概要

本講座の目的は、最近の学校教育をめぐる諸問題、特に学力論や授業論について実践的に研究していくことにある。そして、教師としての使命感や実践的指導力を培うとともに、人間としての生き方について自ら考える力を育てることをねらいとしている。

## 2 学生による授業評価

本講座では、毎時間、授業感想カードに以下のような観点で授業評価をしている。

今年度の結果は、下記のとおりである。5(とてもよい)・・・1(よくない)

\*\*\*\*\*

* [教師の説明の仕方]	5 (100%)	4 (0%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [内容や教材の工夫]	5 (100%)	4 (0%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [構成や展開の工夫]	5 (100%)	4 (0%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [知識・概念の獲得]	5 (96%)	4 (4%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [授業の充実満足度]	5 (100%)	4 (4%)	3 (0%)	2 (0%)	1 (0%)
* [授業への取組み方]	5 (96%)	4 (0%)	3 (4%)	2 (0%)	1 (0%)

\*\*\*\*\*

今年度の傾向として、ほとんどの学生が教師の説明や講座への満足度は高かった。唯一、一人の学生が意欲的に課題のプレゼンテーションを作成できなかったと評価している。私語もなく居眠りもなく教員からみると受講態度はよかったのであるが、学生はやや控えめに自己評価したようである。

授業時間外に自ら課題を設定し、探究型の自主学習をさせ、その成果をプレゼンでまとめさせたが、これは学生の自己学習能力の向上につながった。プレゼンの内容・程度ともに過去最高の出来栄であった。

## 3 学生の自由記述による授業評価

○ とっても知見が広がる 15 回の講義で、毎回すごく楽しみにしていました。楽しい授業、わかる授業を追究しようとする平松先生の教育論には自分もとても納得です。この授業の楽しみだった点は、毎回の授業内に必ずペアワークの時間が設けられていたことです。人の考えを知り、自分もそれで深まることができました。

○ 授業の構成や教材解釈の仕方等、多くのことを学ぶことができ、時には理論的、時には感覚的に学ぶことができ、どの授業も興味をもって臨むことができました。また、教師という仕事の魅力を再確認でき、教師になりたい意欲がよりできてきた。この授業の復習をきちんとし、しっかりと理解できるようにしておきたい。

○ これまでの講義を通して、多くのことを学んだ。そのため、すべてを覚えているかは

分からないが、他の授業などで本授業の学びとつながることが何度かあった。授業づくりや子どもとのかかわりの基礎となる部分を学べたため、これからも教育について考える中で思い返し、活用していけると思う。特に印象に残っているのは、外部講師の方を含め、先生方の話し方や雰囲気よさである。私も先生方のように、人柄でも子どもを引き付けることのできるような教師を目指したい。

- 1年時の「実践入門」の授業で心を惹かれた平松先生でした。3回生になり、自分自身も学びを深め、授業づくりの難しさや教師としてのあるべき姿に悩みや疑問を感じているときでした。先生の経験に基づくテクニックや興味を引き付け核心をつかれる題材には、いつも驚かされました。多くの先生、講師の加田方のお話も、自分の視野を広げてくれたように思います。授業を通して、やはり社会科専修として社会科が好きなた者として、教材や発問についてもっと研究していきたいと思います。また相談に伺わせていただきます。
- この授業では、教師を目指す者にとって、資質を磨ける授業だと思います。外部講師として来てくださる先生方は、現場での状況や問題解決法、実践法など情報を発信してくださり、新しい考え方を養う機会でした。平松先生の授業では、教師をするうえで、子どもを中心とした授業づくり、学級づくりが聞けて、実際に活用したいと思います。「実践入門」のときから平松先生の授業のファンですが、教育実習を終えてもう一度講義を聞くとともに、まだ足りないことがみえてきてもっと成長したいなと思います。
- 平松先生の話をして、1年生のときの「実践入門」で聞いてから、先生の経験や考え方に興味を持ち、本講義を受けました。先生の

授業を受けて、将来私が先生になったとき、このようなことができるのかなど不安に思ったこともありましたが、今では自分なりに勉強して、工夫して、子どもが楽しめる授業をつくっていききたいなど、将来が楽しみになりました。これから教採の勉強が本格化するので、この楽しみな気持ちを忘れずに頑張っていきたいです。ありがとうございました。

- 私はこの講座で、子ども主体の授業の本質と構造を学びました。どんな授業が子ども主体であるか、イメージがてせきていなかったが、実践や具体例を通じて目指していきたい授業像がイメージできました。子どもの表情が「問い」「考える」「分かる」の節々で変化するような授業にしていきたいです。この講座は毎週楽しみにしていました。学校現場でわくわく楽しみながら授業をつくっていききたいと思います。ありがとうございました。
- どの回も実践的な内容で、理論だけでなく、実際の事例などを含めた実践的な内容で、とても分かりやすかったです。今思えば、どの回も、左脳→右脳→左脳の構成だった気がして、隠された授業テクニックに気づいていませんでした。そういった授業校生の裏事情なども知れて、小中の時の先生の意図を知って、もう一度授業を見たらおもしろいだろうなと思いました。子どもたちが主体的に学べる授業構成と人間性をつけていきたいと思います。
- 授業の構成や工夫がすごいと感じた。そのすごさや努力結果が、プレゼン資料に表れている。文字ばかりの理解に大変なものではなく、図やイメージを用いた「みて」わかるスライドは、すごくありがたい。平松先生の授業に対する熱意を感じる授業の連続だった。出会えたことに感謝したい。